



食品衛生店舗 厚生労働大臣賞

「来々軒」2代目店主

かわみなみ てるみ

川南 輝美 さん

林 小人

こばやしびと
Vol.66

創業当初から変わらない思い守り

安全で懐かしいラーメンを作り続ける

創業56年、赤松通りに店を構え、地域に愛され続けているラーメン屋「来々軒」。

昨年10月、長年、安全な

料理を提供し続けたことが認められ、食品衛生優良施設厚生労働大臣賞を受賞した。

県内では数ある飲食店のうち、わずか2店舗のみが受賞した価値ある賞だ。

2代目として店を営むのは、川南輝美さん（76歳）。

「支えてくれる地域の人たちのおかげ。その人たちのために、おいしくて安全なラーメンを出すことは常に意識している」。

来々軒は、父輝夫さんが福岡で修行した後、昭和36

年に開業。父の姿を見て育つ

た照美さんは、23歳から店を手伝い、子どもができた

ことをきっかけに、30歳から本格的に修行を始めた。

店はカウンターから厨房が全て見えており、接客は

もとより、衛生面にも必然的に注意が払われる。また

多くの人が、「なつかしい味」「昔を思い出す」など、

昔から変わらない味を求め店を訪れる。

「父から、衛生面から接客、そして何より同じ味を守る

ことの大切さを教わった」。

そして20年前、店を引き継ぎ2代目に。店主になっても父の教えを守り続けた。

しかし2年前、40年使用し

ていた製麺店が閉店。味の大きな要素である麺の変更

は一大事だった。それでも、同じ味で勝負することを譲

らなかった。

「初めて出したとき、お客様に『やっぱり変わらないね』と言われたときは、正直ホッとしました」。

現在、息子勝裕まさひろさんが店を継ぐべく修行中。安全に

配慮しながら、同じ味を続けることの大切さや難しさを日々教えている。

昔ながらの趣を残す店

「来々軒」。代は変わっても、安全でどこか懐かしいラーメンを作り続ける。



- ④ 昼食時になると多くのお客さんで賑わう。宮崎市など遠方からお訪れる人も。
- ⑤ 赤松通りで場所を変えず56年間営業を続ける。「これからも、本物のラーメンをこの場所で作り安心を届けたい」と話す。